

山形大学国際化の基本方針

令和4年8月3日
役員会承認

山形大学はこれまで2011年に策定された「山形大学グローバル化のための基本方針」に沿って、「第3期中期目標・中期計画」や「山形大学国際化に関するアクションプラン 2018-2020」および「同 2021」を策定し、国際化を具体的に推進してきました。

2022年度に入り、山形大学の将来ビジョンを表明し、「第4期中期目標・中期計画」が始まるのを機に、「山形大学国際化の基本方針」をあらためて策定し、一層の国際化を進めます。

1 目指すべき将来像

山形大学は、社会と「共に育ち、共に創り、共に生きる」を実践し、一人ひとりが幸せを手にする世界を目指す将来ビジョン「つなぐちから。山形大学」を表明しました。そのビジョンに掲げられた「地域・世界の多様な人々を時間と空間を越えてつなぐ”コモンズ”」としての大学づくりに向け、教育、研究、社会貢献など運営全般にわたり、一層の国際化を通じて「人も知もグローバルにつながる場所。山形大学」を目指します。

2 国際化の基本方針

1) 人をつなぐ

- 世界とつながり、自らつながりを増やしていける人材を育成します。
- 学生等が国籍を問わず広く外国人との対話や協働での活動に臨めるように、オンラインを含む多様な交流機会を提供します。
- 留学生が学びやすい環境を整え、留学生との交流の場を充実させます。
- 留学生を含む外国人が暮らしやすい共生社会を地域と連携して実現します。

2) 知をつなぐ

- これまでの学術交流の実績を活かしながら、国境を越えて学べる新たなプログラムを提供・充実させ、世界を舞台とした研究が進みやすい環境づくりを推進します。
- 国境を越えたつながりによって生まれる知が双方向で活かされる環境づくりを推進します。

3) よりよくつなぐ

- 誰一人取り残さないために、“つなぐ”場や“つながる”しくみを継続的に検証し、つなぎ方の改善に努めます。
- 取り組みに必要な財源の確保と人材の育成に努め、よりよい体制づくりを進めます。